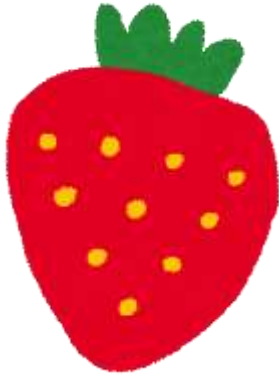


☆「ちがい」って何？

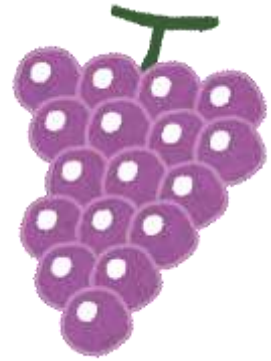
図



いちご



レモン



ブドウ



もも



トマト

「ちがう」ものはどれでしょうか？

【どんな答えができましたか？】

- ・野菜と果物
- ・名前の文字がひらがなとカタカナ
- ・果実が一粒と複数
- 等

私たちは、無意識に様々な違いの仲間に「カテゴライズ (分類)」することが多いのです。

でも、実は…



「全部、『ちがう』のです。」

人は、物事を記憶しようとした時に、エピソードに分けたり、その物に意味づけしたりするなど、「カテゴライズ」していく傾向があるとされています。

この場合の図においても、それぞれの人々が、様々なカテゴライズすると考えられます。

【学校で、教室で考えると…】

学校や教室には、考え方や価値観、家庭環境、学習状況等々、多様な児童生徒がいます。

「〇〇があるから」「〇〇だから」と集団の中で、特定の子だけ「××な子」と分けて見ていませんか？
カテゴライズは、見えない偏見や差別を生む可能性があります。



「全部ちがう」という思考を大事にしながら、一人一人の人間性や多様性を尊重することが大切です。そして、そんな一人一人を大事にする先生方の姿を子どもたちは見て、学んでいます。

参考：神奈川県教育委員会（2017）。「神奈川県のインクルーシブ教育の推進」、平成 28 年度合理的配慮普及推進セミナー
参考：著者 NHK 取材班（1993）。「驚異の小宇宙・人体Ⅱ脳と心 3 人生をつむぐ臓器 [記憶]」、日本放送出版協会
参考：文部科学省（2012）「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/attach/1321669.htm)